

山口新聞

平成 24 年 6 月 15 日 (金)

NO. 10

農地・水環境

守ろう地域の手で



⑩

いるが、農業用水路や農道の老朽化に、農業者の高齢化も加わり、施設の維持管理が課題となっている。

そこで2007年度から農地・水保全管理支払交付金に係る対策に取り組み、非農家、自治会、子供会など

と協力して、

地域や農業用施設などの保

全活動を実施している。

取り組み前は農家だけで農道や水路の管理をしていたが、保全会結成後は農家に加え、非農家や小・中学生が参加する活動ができるようになり、地域に一体感が醸成された。

また、小学生による田植えや稲刈りの体験学習を実施し、多くの子供の参加を得て、参加者、主催者ともに、とても良い経験になっている。

今後とも、少子高齢化が進んでいくものと思われるが、自分たちの地域は自分たちで協同し、助け合いながら守っていきたい。

(代表、小川正良)

— 金曜日掲載 —

さのぜき保全会 (防府市)



● 会員の皆さん
● 小学生による稲刈りの体験学習

【メモ】代表 小川正良
▽ 会員 農家 143 人、
自治会、子供会、女性部、
土地改良区、JA 設立
|| 2007 年 3 月 30 日 ▽
事務局 防府市佐野 1-6
34 の 1、小川 ☎ 083
5・24・3864

豊かな台地を未来につなごう

「さのぜき保全会」が活動しているのは、佐波川河

口の大道・西浦干拓を主体

とした平たんな水田が広がる稲作地帯である。

基礎整備はほぼ完了して

非農家、自治会、子供会など

と協力して、

地域や農業用施設などの保